

清華大学公共安全研究院を訪問し、連携について協議しました (2018/11/08-09)

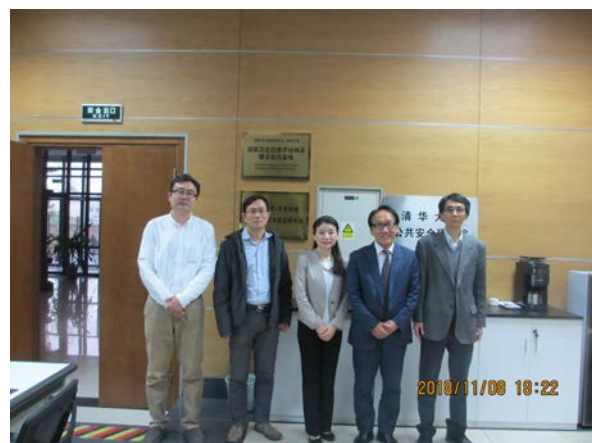
テーマ：国際連携、大学間連携、APRU
場所：清華大学（中国、北京）

2018年11月8-9日に、当研究所の今村文彦所長（災害リスク研究部門）と泉貴子准教授（地域・都市再生研究部門）が北京の清華大学を訪問しました。清華大学公共安全研究院のHong Huang 教授、Xin Zheng 准教授、Tao Chen 准教授と面会し、双方がそれぞれの研究所と研究について紹介するとともに、今後の連携について意見交換を行いました。清華大学は、東北大学にとっても重要なパートナーと考えられている「ベンチマーク」大学のひとつです。今年8月に清華大学代表団が東北大学を訪れ、4つの主な研究分野（材料科学、スピントロニクス、未来型医療、災害科学）について、シンポジウムおよびジョイントワークショップを行いました。その際に、災害科学研究について、さらに具体的な協議を行うため、今回の訪問が実現しました。

今村所長は、当研究所の学際的研究への取り組み、東日本大震災関連の研究、川崎市などにおける行政・企業のBCPに関する貢献と取り組みについて発表し、泉准教授は両大学が加盟しているAPRU（環太平洋大学協会）とそのマルチハザードプログラム特にキャンパスセーフティプログラム、またElsevier社とまとめた「災害科学研究」に関する各国の成果や動向について発表しました。清華大学はマルチハザードプログラムコアグループのメンバーであり、特にキャンパスセーフティプログラムについて、積極的に参加・貢献いただいています。

清華大学からは、公共安全研究院の主な研究や活動、中国の緊急対応システム構築の活動やキャンパスセーフティの取り組みについてお話いただきました。特に「省」レベルでの対応システム開発・普及に関する研究と実装、さらに大学の様々なセキュリティに関する問題にすぐに対応できるようなアプリケーションを開発するなど、緊急対応システムやキャンパスセーフティ分野で大変活発な研究・実装活動をされています。さらに、大学構内の様々な施設や歴史のある建物をご紹介いただき、その伝統やこれまでのあらゆる国々・大学との交流の様子を伺うことができました。

今後の連携については、リスク解析・シミュレーション、キャンパスセーフティなど、優先的分野について合意することができました。来年の10月には、東北大学代表団が清華大学を訪問、ジョイントワークショップを開催し、両大学間の連携をさらに深める予定です。



文責：今村文彦（災害リスク部門）、泉貴子（地域・都市再生研究部門）